

過去の災害から“防災・減災”について学ぶ、貴重な機会となりました。

3年生 修学旅行 防災学習 6月9日(木)

修学旅行では例年、古都「京都」を中心に関西地域の史跡・文化財を巡り、日本の伝統文化等について学習しています。加えて今年の修学旅行では、“防災・減災”をテーマに「神戸」に行きました。「神戸」は今から27年前、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた都市です。



最初に訪れた「人と防災未来センター」では、探求学習に取り組みました。大型スクリーンでの震災映像と震災直後のまちを再現した原寸大のジオラマで震災を追体験した後、展示資料や当時の映像、震災体験談や体験コーナーなどで、タブレット PC も活用しながら、取材活動を行いました。

次に、神戸市街地に移動、神戸市内を班行動しました。史跡・文化財を巡るなかで、神戸の開港都市としての歴史を肌で感じるとともに、震災からの街の復興を実感することができました。



宿泊したホテルでのテーブルマナー講習では、このホテルが震災の年に開業を予定していたこと、1月に震災があり周辺に大きな被害があったこと、それでも「神戸復興の新しいシンボルになるように」という思いから、予定日どおり7月に開業できたことなどを伺い、地域の人たちの復興への思いに触れることができました。

これまで様々な形で防災について学んできましたが、今回の修学旅行での神戸訪問は、その集大成として、過去の災害から“防災・減災”について学ぶ貴重な機会となりました。